

令和 7 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（総評）

【技術家庭（技術分野）】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備 考
2 東京書籍	<p>(1) 技術科の目標を達成するために、内容ごとに「生活や社会を支える技術」「技術による問題の解決」「社会の発展と技術」の一連の流れの中で学習を進めることができるようにし、さらに技術の見方・考え方をマンガと連動した「最適化の窓」で気付かせるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、最初に5段階の問題解決学習の流れを詳しく説明し、製作の例を3つ提示してある。また、「technology」のワークシートのページで協働学習をしやすい工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味・関心を高めるために、必要な技能をまとめた「TECH Lab」コーナーで写真や図版を用いたり、二次元コードから作業動画などのデジタルコンテンツを活用できるようにしたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 生徒が課題を自ら設定したり、協働的な学びを通して解決策を構想したりできるようにするために、「問題の発見と課題の設定」では、思考ツールによる問題解決の構造化や、ニーズやシーズで「問題解決例」を示し、自分で学習を進められるような工夫が見られる。</p>	<p>P③～P1 P19</p> <p>P58～P59 P72～p77 P83</p> <p>P40～P41 P115</p> <p>P106～ P107</p>
6 教育図書	<p>(1) 技術科の目標を達成するために、内容ごとに「技術を見つめよう」「技術をいかそう」「未来をつくろう」という一連の流れの中で学習を進めることができるようにし、技術の見方・考え方を様々な立場の視点から見た問題解決で気付かせるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、4段階の問題解決学習の流れが4コマ漫画でまとめてあり、製作の例を2つ提示してある。また、「未来をつくろう」で技術のプラス面、マイナス面を示し、協働学習をしやすい工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味・関心を高めるために、問題解決学習で生徒が自分で調べられるように、別冊「スキルアシスト」を作成したり、全ページで二次元コードから技能動画などのデジタルコンテンツを活用できるようにしたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 生徒が課題を自ら設定したり、協働的な学びを通して解決策を構想したりできるようにするために、問題解決の流れを簡潔に漫画で分かりやすく説明した後に、問題解決の進め方をステップごとに示し、自分で学習を進められるような工夫が見られる。</p>	<p>P2 P8～P9</p> <p>P36～P37 P54～P63 P66</p> <p>別冊 P4～ P5 別冊 P17</p> <p>P86～P87 P90～P100</p>
9 開隆堂出版	<p>(1) 技術科の目標を達成するために、生活や社会の中にある技術に気付かせながら基礎・基本を習得させ、「問題解決→実習例→学習のまとめ」という一連の流れの中で学習を進めることができるようにし、技術の見方・考え方を身近な製品の特徴から気付かせるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、最初に「思考の流れ」で4段階の問題解決学習の流れを説明し、製作の例を数多く提示してある。また、「やってみよう」の発問で協働学習をしやすい工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味・関心を高めるために、製作等の手順に沿って分かりやすく作業を進めることができるように、生徒のキャラクターを登場させたり、二次元コードから動画や資料などのデジタルコンテンツを活用できるようにしたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 生徒が課題を自ら設定したり、協働的な学びを通して解決策を構想したりできるようにするために、既存の技術の工夫やしくみについて調べた上で課題を設定し、解決のための学習が進められるような工夫が見られる。</p>	<p>P2～P3 P12～P13</p> <p>P50～P51 P62～P73 P101</p> <p>P52～P53 P115</p> <p>P126～ P127</p>